

防災



おおいた マイ・タイムライン ガイドブック

Ver.3(R3.5.20改訂)

マイ・タイムラインって？

大雨や台風などの風水害から身を守るため、事前に自分自身や家族の行動を時間の流れに沿って整理しておく「避難行動計画」です。

マイ・タイムラインの目的

- 早めの避難のために、避難スイッチを決めておく
- いざというとき、あわてずに避難できるようにする
- 必ず全員が避難して、被害にあわないようにする
- 普段から、災害発生や防災を考える力を身につける
- 事前の備えを準備・確認する習慣を身につける

風水害から身を守る3つのポイント

- 自宅の災害リスクや避難先、非常持出品など事前の確認や備え
- 素早く確実な情報収集
- 早いタイミングの避難

この3つがとても大事だよ！



マイ・タイムラインを作成する前に

台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

平時に
確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？ **必ず取組みましょう**

ハザードマップ*で自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※、**立退き避難**（自宅の外に避難）が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまうおそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、水・食糧などの備えが十分にある場合は**屋内安全確保**（自宅に留まり安全確保すること）も可能です。

解説は裏面をご覧ください

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、市区町村が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル4避難指示が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）

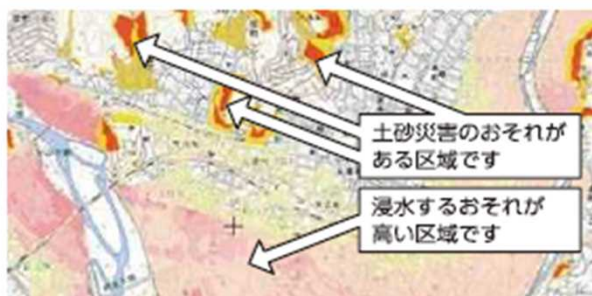
警戒レベル4避難指示が出たら、市区町村が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう

マイ・タイムラインを作成する前に

避難行動判定フローの参考情報

ハザードマップの見方

必ず確認してください



※ハザードマップの着色や凡例は市町村によって異なる場合があります。

水害		土砂災害	
洪水浸水想定区域 (浸水深)		土砂災害警戒区域	土砂災害のおそれがある区域
3・4層	5m~10m未満 (3階床上浸水~4階軒下浸水)	土砂災害特別警戒区域	建築物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域
2層	3m~5m未満 (2階床上~軒下浸水)		
1層	0.5m~3m未満 (1階床上~軒下浸水)		
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)		

ハザードマップ検索



ハザードマップの見方

もっと詳しく知りたい人向け

次の3つが確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

- ① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない (入っていると…)



流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります

地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります

- ② 浸水深より居室は高い

3・4層	5m~10m未満 (3階床上浸水~4階軒下浸水)
2層	3m~5m未満 (2階床上~軒下浸水)
1層	0.5m~3m未満 (1階床上~軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

- ③ 水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分 (十分じゃないと…)

水、食糧、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります



※①家屋倒壊等氾濫想定区域や③水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住まいの市町村へお問い合わせください。なお、重ねるハザードマップには①及び③の記載はありません。



警戒レベル3や警戒レベル4が出たら、危険な場所から避難しましょう。



「避難」とは「難」を「避」けることです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。



避難先は小中学校・公民館だけではありません。安全な親戚・知人宅やホテル・旅館に避難することも考えてみましょう。

※緊急時に身を寄せる避難先は、市町村が指定する「指定緊急避難場所」や、安全な親戚・知人宅など様々です。普段からどこに避難するかを決めておきましょう。

※「指定緊急避難場所」は、災害の種類ごとに安全な場所が指定されています。(小中学校、公民館など)

※災害が落ち着いた後に、自宅が被災し、帰宅できない場合には、しばらく避難生活を送るため、「指定避難所」に行きましょう。

マイ・タイムラインを作成する前に

台風・豪雨時に「避難情報のポイント」を確認し避難しましょう

緊急時に確認

避難情報のポイント

!.....必ず確認してください.....!

市区町村から出される避難情報(警戒レベル)

- ❗ 避難とは難を避けること、つまり安全を確保することです。安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。
 - ❗ 危険な場所から警戒レベル3で(高齢者等は避難)、警戒レベル4で(全員避難^{※1})です。
- ※1 警戒レベル4「全員避難」は、高齢者等に限らず全員が危険な場所から避難するタイミングです。



警戒レベル4 避難指示で危険な場所から避難です

- ❗ 警戒レベル5はすでに災害が発生・切迫している状況です。
 - ・警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。
 - ・警戒レベル5 緊急安全確保の発令を待ってはいけません!
 - ・ただし、警戒レベル5は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。
- ❗ 警戒レベル4は避難指示に一本化されました。
 - ・避難のタイミングを明確にするため、令和3年の災対法改正以前の警戒レベル4避難動告と避難指示(緊急)は「避難指示」に一本化され、避難指示は令和3年の災対法改正以前の避難動告のタイミングで発令されます。
 - ・警戒レベル4避難指示は、立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令される情報で、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。
- ❗ 警戒レベル3は高齢者だけの情報ではありません。
 - ・「高齢者等」は障害のある人や避難を支援する者も含んでいます。
 - ・さらに、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミングです。
- ❗ 豪雨時の屋外避難は危険です。車の移動も控えましょう。

マイ・タイムラインを作成する前に

避難情報のポイント解説 もっと詳しく知りたい人向け

国土交通省・気象庁・都道府県から出される 河川水位や雨の情報(警戒レベル相当情報)

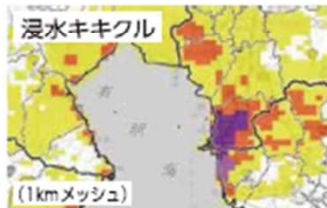
■ キキクル(危険度分布)で、お住まいの地域の状況を確認しましょう

気象庁から市区町村単位の警戒レベル相当情報[※]が出されたら、お住まいの地域の状況が詳細にわかる情報「キキクル(危険度分布)」を確認してください。 **紫色は危険度が高いことを示しています。**

住所を登録しておけば、お住まいの地域が危険になったら自動的にスマートフォンに通知される「危険度分布通知サービス」もありますので、ご活用ください。

キキクル

検索



紫：崖・渓流の近くは危険

紫：低地は危険

紫：河川沿いは危険

※市区町村単位で発表される情報には、大雨特別警報、土砂災害警戒情報、大雨警報などがあります。

■ 市区町村が出す警戒レベル3又は警戒レベル4(避難情報)で必ず避難しましょう 気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に 早めの避難をしましょう

避難情報等 (警戒レベル)				河川水位や雨の情報 (警戒レベル相当情報)	
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報) 洪水の情報(河川) 土砂災害の情報(河川)	
5	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保!	緊急安全確保	5 発生	氾濫発生情報 大雨特別警報 (土砂災害)
~~~~~ <警戒レベル4までに必ず避難! > ~~~~~					
4	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	4	氾濫危険情報 土砂災害警戒情報
3	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難	高齢者等避難	3	氾濫警戒情報 洪水警戒 大雨警報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報	2 発生	氾濫注意情報 ---
1	今後気象状況悪化 のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1 発生	---

市区町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。



# マイ・タイムライン作成の流れ

① 「おおいたマイ・タイムライン学習資料」をそれぞれでチェック！  
※学校の防災学習等で使用するのもオススメです！

家族でマイタイムラインを作る前にチェックしよう！

### おおいたマイ・タイムライン 学習資料

Ver.2(R3.3.30改訂)

何を調べる？ どうやって情報を集める？	<input type="checkbox"/> 避難所の場所を調べる <input type="checkbox"/> 天気のことを調べる <input type="checkbox"/> テレビ <input type="checkbox"/> ラジオ <input type="checkbox"/> おおいた防災アプリ <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 市・町・村のハザードマップ <input type="checkbox"/> 家から避難先までの経路 <input type="checkbox"/> 携帯電話 <input type="checkbox"/> 防災メール <input type="checkbox"/> おおいた防災ポータル <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
避難するときに何を持って行けばいいかな？	<input type="checkbox"/> 飲み水 <input type="checkbox"/> 食料 <input type="checkbox"/> 常備薬 <input type="checkbox"/> 毛布 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 懐電 <input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> タオル <input type="checkbox"/> 貴重品 <input type="checkbox"/> マスク <input type="checkbox"/> 体温計 <input type="checkbox"/> アルコール消毒液 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
どこに避難する？	<input type="checkbox"/> 近くの公民館 <input type="checkbox"/> 親せきの家 <input type="checkbox"/> 友人の家 <input type="checkbox"/> 近所にある宿泊施設 <input type="checkbox"/> 自宅避難 → (安全確認の内容は？： <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
家族で何を決めておけばいいかな？	<input type="checkbox"/> 毎日、必ず天気予報を確認する <input type="checkbox"/> 事前に備えておくこと・ものを決めておく <input type="checkbox"/> いつ避難を開始するか(避難スイッチ)を決めておく <input type="checkbox"/> 避難先を決めておく <input type="checkbox"/> 避難路を決めておく <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	

★ポイント  
あらかじめ記載されている項目以外にも自分が考えたことを記入してみよう！



② チェックした学習資料を家族で持ち寄って「おおいたマイ・タイムライン」を作ってみよう！

おおいたマイ・タイムライン ~わが家の避難計画~

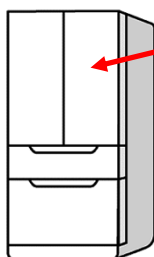
Ver.3(R3.5.20改訂)

警戒レベル1 早期注意情報 (気象庁が発表) 今後、気象状況悪化の恐れあり	警戒レベル2 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁が発表) 気象状況悪化	警戒レベル3 高齢者等避難 (市町村が発令) 災害の恐れあり	警戒レベル4 避難指示 (市町村が発令) 災害の恐れが高まっている	警戒レベル5 緊急安全確保 (市町村が発令) 災害発生または切迫
<p>警戒レベルに応じた家族の行動</p> <p>災害への心構えを高める 自分や家族の避難行動を確認 高齢者等は危険な場所から避難 危険な場所から全員避難 命の危険、直ちに安全確保</p> <p>全員避難完了！</p> <p>自宅内の安全な場所へ避難 2階以上に避難</p>				
<p>日頃から調べておくこと、備えておくこと</p> <p>わが家の災害リスク・避難先</p> <p>日頃から調べておくこと、備えておくこと</p> <p>非常持出品</p> <p>情報収集ツール</p>				

★ポイント  
家族みんなでいろいろな意見を出し合って、楽しみながら作ってみよう！



③ マイタイムラインをみんなの目につきやすい場所に貼っておこう











## 警戒レベルと警戒レベル相当情報(防災気象情報)

警戒レベル		警戒レベル相当情報(防災気象情報)	
警戒レベル5	何らかの災害がすでに発生または切迫している可能性が極めて高い状況となっています。自治体からの緊急安全確保の発令を待たず、直ちに命を守るための最善の行動をとってください。 (必ず発令される情報ではないことに留意)	警戒相当レベル5	○大雨特別警報 ○氾濫発生情報 ○高潮氾濫発生情報
警戒レベル4	災害が想定されている区域等では、自治体からの避難指示の発令に留意するとともに、避難指示が発令されていなくても危険度分布や河川の水位情報等を用いて自ら避難の判断をしてください。	警戒相当レベル4	○土砂災害警戒情報 ○土砂・洪水・浸水キキクル(危険度分布) 「非常に危険」(うすい紫) <small>※1～3時間先までに警報基準を大きく超過した基準に到達すると予想</small> ○氾濫危険情報 ○高潮特別警報 ○高潮警報
警戒レベル3	災害が想定されている区域等では、自治体からの高齢者等避難の発令に留意するとともに、危険度分布や河川の水位情報等を用いて高齢者等の方は自ら避難の判断をしてください。	警戒相当レベル3	○大雨警報(土砂災害) ○洪水警報 ○土砂・洪水・浸水キキクル(危険度分布) 「警戒」(赤) <small>※1～3時間先までに警報基準に到達すると予想</small> ○氾濫警戒情報 ○高潮注意報(警報に切り替える可能性が高い旨に言及されているもの)
警戒レベル2	ハザードマップ等により、災害が想定されている区域や避難先、避難経路を確認してください。	警戒相当レベル2	○土砂・洪水・浸水キキクル(危険度分布) 「注意」(黄) ○氾濫注意情報
警戒レベル1	最新の防災気象情報等に留意するなど、災害への心構えを高めてください。	警戒相当レベル1	早期注意情報(警報級の可能性) 注:大雨に関して、明日までの期間に [高]又は[中]が予想されている場合

※警戒レベルと警戒レベル相当情報が発令・発表されるタイミングと対象地域は、必ずしも一致しないことに注意してください

# 防災気象情報の種類

		特別警報 重大な災害の起こる おそれが著しき大きい	警報 重大な災害 の起こる おそれ	注意報 災害の起こる おそれ
雨 	大雨特別警報 (土砂災害) 大雨特別警報(浸水害) [2011年台風12号] [2012年7月九州北部豪雨] など		大雨警報 (土砂災害)	大雨注意報
	土砂災害警戒情報		大雨警報 (浸水害)	
風 	暴風特別警報 高潮特別警報 波浪特別警報 [1934年 室戸台風] [1959年 伊勢湾台風] など		暴風警報 高潮警報 波浪警報	強風注意報 高潮注意報 波浪注意報
風雪 	暴風雪特別警報 ※ 暴風特別警報に雪が伴え ば、暴風雪特別警報になる		暴風雪警報	風雪注意報
雪 	大雪特別警報 [1963年 昭和38年1月豪雪] [1981年 昭和56年豪雪] など		大雪警報	大雪注意報
洪水 			洪水警報	洪水注意報
その他 	雨や風の防災気象情報って いっぱい種類があるんだね！ しっかり覚えておこう！！			濃霧・雷・乾燥 雪崩・着氷 着雪・融雪・霜 低温の各注意報



# 家族の行動を記入しよう

災害への心構えを高める	自分や家族の避難行動を確認	高齢者等は危険な場所から避難	危険な場所から全員避難	命の危険、直ちに安全確保
		<p>もうすぐ避難開始！</p> <p><b>わが家の避難スイッチ！ 警戒レベル3発令後に 必ず避難する！！</b></p>		<p>全員避難完了！</p> <p>△ 自宅内の安全な場所へ避難</p> <p>△ 2階以上に避難</p>

## ☆ポイント

- ・記入例を参考にして、家族や自宅の状況に応じた行動を記入しよう！  
(避難スイッチ記入例)

※

- ・【避難スイッチ】の記入注意点

①早めの時期に設定しよう！

②目立つように記入しよう！

③家族全員が一緒のタイミングで避難するので、基本的に、避難スイッチは1つだけにしよう！

※避難スイッチ＝避難を開始するタイミング

**わが家の避難スイッチ！**

**警戒レベル3発令後に  
必ず避難する！！**

- ・警戒レベルと気象情報を、前のページでしっかりと理解して記入しよう！

- ・平日の日中などは、全員が自宅に居るとは限らないよ。  
学校や会社などに居る場合は、それぞれのルールで避難しよう。



いつ・何を準備するのか、  
いつ避難スイッチをオンにするのか、  
家族全員でしっかり話し合って、  
いざというときに慌てないように  
しておこう！！



## 日頃から調べておくこと、備えておくこと

### ①わが家の災害リスク・避難先

わが家の災害リスク・避難先	
<input type="checkbox"/>	浸水する深さ※想定 ( )m
<input type="checkbox"/>	近隣河川までの距離 ( )m
<input type="checkbox"/>	土砂災害警戒区域に入って ( いる・いない )
<input type="checkbox"/>	避難先① ( )まで、徒歩・車で( )分
<input type="checkbox"/>	避難先② ( )まで、徒歩・車で( )分
※自宅が危険な地域ではない場合や、マンションなど頑丈な建物の場合は、屋内待機や垂直避難(建物内の2階以上)	
<input type="checkbox"/>	避難先までの危険な場所・特徴 ( )

### ☆ポイント


- ・住んでいる地域の洪水や土砂災害のハザードマップを確認しよう！
- ・天気の良い日に、家族で避難先まで徒歩や車で行ってみよう！
- ・**新型コロナウイルス対策**として、避難先に親族や知人の家を検討しよう！


#### 水害

洪水浸水想定区域  
(浸水深)



#### 土砂災害

土砂災害警戒区域：  
土砂災害のおそれがある区域

土砂災害特別警戒区域：  
建造物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域

### ☆チェック

ここを読み込んで  
住んでいる市町村  
のハザードマップ  
を確認しよう！

ハザードマップポータルサイト

検索



知っておこう！

500m歩くのにかかる時間(目安)

・大人約7~8分 ・高齢者、子ども約10分

# 日頃から調べておくこと、備えておくこと

## ②非常持出品

### 非常持ち出し品 チェックリスト

ご自身やご家族に必要なものをすぐに持ち出せるよう準備しましょう。避難に支障が出る重さにならないよう注意しましょう。

重さの目安 男性15kg 女性10kg



#### 食料品等

- 飲料水(500ml×1人3本)
- 非常食(乾パンなど)
- 栄養補給・調整食品
- 飴・チョコレート
- 粉ミルク・ほ乳びん
- 割り箸・スプーン・紙皿

#### 衛生用品

- ウェットティッシュ・ポケットティッシュ
- 携帯トイレ  紙オムツ
- 口腔ケア用品  生理用品
- ドライシャンプー

#### 避難先での新型コロナウイルス対策

- マスク  ペーパータオル
- 体温計  アルコール消毒液
- 使い捨て手袋

#### 生活用品・情報機器

- 携帯ラジオ  予備電池
- 携帯電話(スマートフォン)
- 携帯電話等の充電機
- 防災マップ  周辺地図
- 筆記用具(ペン・メモ帳)
- カッター・ハサミ
- 衣類・下着  靴下
- タオル  毛布
- ビニール袋

#### 貴重品

- 現金  預金通帳
- 印鑑  健康保険証
- 重要書類の番号を記したもの
- 家族等の連絡先・写真

#### 身を守るもの

- ヘルメット  ゴーグル
- 長袖・長スボン  レインコート
- 丈夫な手袋  笛
- 運動靴(底厚の履き慣れたもの)
- 靴の中敷き(踏み抜き防止)
- 懐中電灯(ヘッドライト)

#### 医療品等

- 持病薬  常備薬  救急セット

#### 平時に行う家庭での対策

- 家具や壁飾りなどの固定  
※L型金具、耐震ボールなどで固定しましょう。
- ガラス飛散防止(フィルム貼付)
- 感震ブレーカーの設置  
※地震発生時に自動的に電気の供給を遮断し、停電回復時の電気火災を防ぎます。

## ☆ポイント

- ・家族で話して必要な物を決めよう！
  - ・量販店などに行ってみよう！
  - ・自分で運べる範囲で揃えておこう！
  - ・新型コロナウイルス対策も必要！
- マ・・・マスク タ・・・体温計 タ・・・タオル シ・・・消毒液 テ・・・手袋
- 「マ・タ・タ・シ・テ」**で覚えてね！



# 日頃から調べておくこと、備えておくこと

## ③情報収集ツール(1)

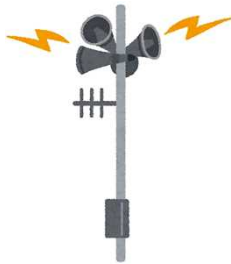
○テレビ



○ラジオ



○防災行政無線



○緊急速報メール



○戸別受信機  
(防災ラジオ)



○おおいた防災アプリ



AppStore



GooglePlay



○県民安全・安心メール



読み込んで  
空メールを  
送信してね

○おおいた防災情報ポータル(県HP)

おおいた防災情報ポータル

道路規制や河川水位等の  
情報はこちらから



○大分地方気象台HP



天気や台風等の  
情報はこちらから



停電やシステム障害が発生したら使えなくなる  
場合があるよ！  
情報収集ツールは何個も準備しておこう！



## 日頃から調べておくこと、備えておくこと

### ④情報収集ツール(2)

#### ○各市町村HP(防災情報のページ)

・大分市



・別府市



・中津市



・日田市



・佐伯市



・臼杵市



・津久見市



・竹田市



・豊後高田市



・杵築市



・宇佐市



・豊後大野市



・由布市



・国東市



・姫島村



・日出町



・九重町



・玖珠町



#### ○各市町村の防災メールのページ

・大分市防災メール



・なかつメール(中津市)



・ひた防災メール(日田市)



・さいき防災メール(佐伯市)



・臼杵市登録制メール



自分が住んでいる市町村の防災情報を  
チェックしよう！

## マイ・タイムラインの作成後は

- 基本的な避難行動の目安にしよう！
  - 避難スイッチのタイミングが大事だよ！
  - 必ず家族全員の目に付く場所に貼っておこう！
  - 普段使うバッグなどに入れて持ち歩いておこう！
  - 携帯電話にデータや画像として記録しておこう！
  - 定期的に家族でマイタイムラインを確認しよう！
  - 生活や環境の変化に応じて、内容を見直そう！
- (大雨や台風が近づいたら)
- 収集した情報をもとに、臨機応変に対応しよう！
- (地域の防災力を高めるために)
- 近所の皆さんに、マイタイムラインを広めよう！
  - 防災訓練に参加しよう！



特に、出水期(6～10月:集中豪雨や台風の多い時期)の前には、家族で話し合っ  
て内容を確認しておこう！



## 避難するときに注意すること

### 事前

○明るいうちに早めに避難しよう！

○危険を感じたら、市町村からの避難情報の発令を待たずに避難しよう！

### 避難開始

○持ち物はリュックの中身だけにして、両手が使えるようにしておこう！

○長靴ではなく、運動靴(スニーカー)を選ぼう！

### 避難中

○地域の人たちにも声かけしながら避難しよう！

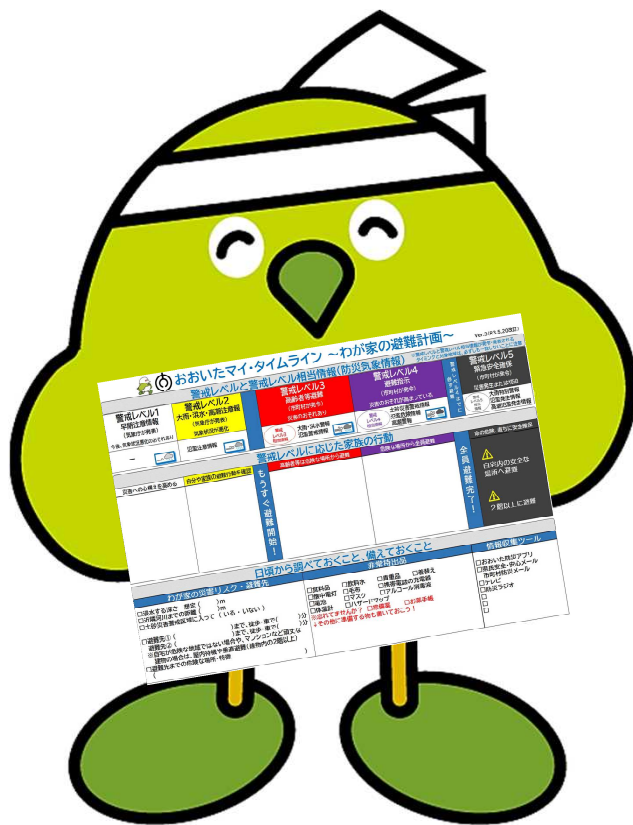
○川や海には絶対に近づかないようにしよう！

○冠水すると見えにくいので、マンホールや側溝に気をつけよう！

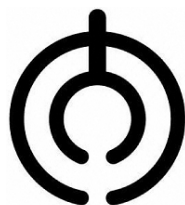
○長い棒で道路状況を探りながら慌てず歩こう！

○暴風などで切れた電線には絶対に近づかない！

**早めの避難を習慣に！  
まわりに注意しながら避難！**



皆さんの日常に防災を



大分県